

科 目	歴史総合	学年・類型	1 年 普通科・国際文理科	単位数	2
教 科 書	明解 歴史総合（帝国書院）				
副 教 材 等	明解 歴史総合ノート（帝国書院）				
学 習 目 標	日本を含む世界の諸地域の主要な歴史の枠組みと展開を、主に近現代を対象として、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
学 習 心 得	歴史総合は、主に近現代における歴史の流れを把握しながら、単なる地域の歴史だけでなく、それぞれが互いに結びついたものであることを理解し、整理していくことが必要な科目です。同時代的な横の歴史と並行し、各地域の縦の歴史の流れをおさえながら、政治体制や宗教などテーマごとに内容の再構築を図ることで歴史的思考力も培われます。内容把握の定着を図り、こまめに復習する習慣を身につけよう。				
	単 元		主 な 学 習 活 動		
一 学 期	1 部 歴史の扉 1 章 歴史と私たち 2 部 近代化と私たち 1 章 江戸時代の日本と結び付く世界 2 章 欧米諸国における近代化 3 章 近代化の進展と国民国家形成 4 章 アジア諸国の動揺と日本の開国 5 章 近代化が進む日本と東アジア		・身の回りの事象と世界の歴史が結びついていることを理解し、考察・表現する。 ・産業革命と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会のあり方が変化したことを扱い、世界とその中における日本を広く相互的な視野からとらえて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして 18 世紀のアジアの経済と社会、工業化と世界市場の形成、立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について理解できるようにする。		
二 学 期	3 部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 章 第一次世界大戦と日本の対応 2 章 国際協調と大衆社会の広がり 3 章 日本の行方と第二次世界大戦 4 章 再出発する世界と日本		・政治、外交、経済、思想や文化などのさまざまな面で国際的な結び付きが強まり、国家間の関係が変化したことを理解する。世界とそのなかにおける日本を広く相互的な視野からとらえて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解していく。 ・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がり、国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解する。		
三 学 期	4 部 グローバル化と私たち 1 章 冷戦で揺れる世界と日本 2 章 多極化する世界 3 章 グローバル化の中の世界と日本		・科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになり、人々の生活と社会のあり方が変化したことに触れ、世界とそのなかにおける日本を広く相互的な視野からとらえて考察し、現代的な諸課題の形成に関わるグローバル化の歴史を理解する。 ・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会、市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容と課題について理解する。		

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	世界・日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、現代社会における私たちの暮らしや地理的条件と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	・定期考査 ・小テスト ・週末課題等の記述内容 ・ルーブリック評価
思考・判断・表現	歴史的諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的性質を読み解く観点で考察し、表現できているか。	・定期考査 ・小テスト ・週末課題等の記述内容 ・ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	歴史と現代社会との関連性や因果関係を明らかにしようと積極的に授業や課題に取り組み、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとしているか。	・授業に取り組む態度 ・要点ノート・週末課題等の記述内容 ・ルーブリック評価